

講義科目名（コース名）	ビジネス研修
氏 名	齋藤 毅（執筆），岩田 員典

### 【教材の目的と概要】

ビジネス研修は奥野教授，石川准教授，岩田准教授，田中准教授，水野准教授，及び齋藤が本年度の委員として担当した科目である。Moodleは，授業前半では岩田准教授が，後半は筆者が主に担当していた。

Moodleにコースを開設した目的は，研修に関する情報の周知，課題の回収，及び研修報告書の回収の3点である。

### 【授業における活用方法】

授業全般を通じ，授業のスケジュール変更など教学上の連絡をMoodleに掲示していた。

授業前半には岩田准教授によるPC研修があり，講義資料の配布，出欠の確認に利用し，Excelの課題をMoodleで受付けていた。

後半は実地研修であり，研修で作成する日誌等の管理を筆者が担当していた。学生の提出物としては，各自が研修先に日々持参し，出勤簿や日誌などが載せられた「日誌」，及び研修プログラム全般の総括となる冊子『報告書』に掲載する「報告書」の2点である。

日誌は手書きだが，カリキュラム表はスキャニングし，PDF化して報告書に用いる。書き損じた際は書き直してもら

う必要があるため，カリキュラム表の元ファイルをMoodleに置いた。

報告書は，書き込み可能PDFに学生が記入したものである。これを課題提出機能によりMoodleで回収した。

以上が本コースにおけるMoodleの使用方法である。

### 【授業で使った感想】

報告書の提出状況が一目で分かること，ダウンロードした課題に学籍番号がつくので並び替えが楽なこと，履修者にメールの一斉送信ができること，などが利用していて便利だと感じた点である。

課題と思われる点を述べる。初回授業には出席し，登録キーを教わったのでMoodleに登録したものの，実際には履修登録をしなかった学生がいる。このような学生が最後までMoodleに参加者として登録されていると，報告書の提出は全員分完了しているにも関わらず未提出者がいるように見えるため，報告書の実質的な提出完了時期を勘違いしやすい。UNIPAとの連携により，履修登録者がMoodleに自動的に反映される仕組みが欲しいと考えている。